

No. 1070

★ 緊迫の8時間30分

— 日航機ハイジャック —

15日夜大阪発東京行き日航機が愛知県上空でナイフを持った若い男にハイジャックされた。犯人は乗員乗客を人質に「拘置中の赤軍派・塩見孝也議長を釈放し、その後北鮮へ飛べ」と要求。このため日航機は羽田空港に緊急着陸し、同空港には警官隊およそ500人が配置された。管制塔を通じて無線で犯人との接触を始めたが、16日午前1時5分、安部機長から「犯人が大阪へ行けと行ってきかないので離陸する」と連絡があり、3分後に突然、飛び去った。同機は16日未明、名古屋空港に着陸したが乗員らの機転でまず乗客が脱出に成功、その後愛知県警、機動隊員によって犯人は逮捕された。犯人、岩越明の犯行の動機についてはまだ明らかにされていないが緊迫の8時間30分、あけない幕切れだった。

★ 参院選延長戦

7月9日未明、開票を終えた参議院議員選挙全国区は、51位から次点の55位まで僅か7609票差の激戦であった。当選者確定は、集中豪雨を受けた三重県伊勢市がやり直し投票という史上初の事態となったため、繰り延べやり直し投票分8491票をめぐる一週間の延長となった。かくて8000票を我がものにせんと、当落線上の自共6人の候補が伊勢市へ御園村へかけつける結果となった。

災害のつめあとが、まだ生々しく残る伊勢市明倫地区では、共産党の災害救援隊が大活躍、そこへ共産党候補が御到着という次第。

52位の上田みのる候補（自民）は、前建設省河川局長であることを強調、「河川改修を必ずやりとげます」と訴えれば、53位の森下泰候補（自民）は「仁丹でおなじみの森下でございます」と奥さんともども親しさと売り込む。

受けてたった共産党三候補は、党の大物をずらりとそろえて千人を超える大演説会。

投票日の7月14日、久しぶりに静けさをとりもどした伊勢市、住民の声は厳しい「選挙の時だけ救援だの河川改修だのといっておいて、選挙が終わってしまったらそれっきりということはないんでしょね」

かくて、審判は下った。順位は入れかわったものの、議席数に移動はなく、自共対決は仲良く引分け、お伊勢さまのおひざもとでくりひろげられた参院選延長戦は幕を閉じた。